

<週報No.2, 856> 2,967 回例会

2018年10月5日(金)

◆会長/古屋 了 ◆幹事/加藤 明博

◆司会=川村総一郎 SAA

◆ゲストビジター=米山奨学生 王爽(おう そう)様、
茅野ロータリー会長 五味徳雄様

◆出席報告

本 日	64.29%	18名欠席
前回訂正	77.27%	11名欠席

◆ラッキーナンバー=No.23 瀬在昭男君

◆ニコニコボックス=●古屋了君、加藤明博君=茅野 RC 五味様、王爽様ようこそおいで下さいました。本日はよろしくお願ひ致します。●折井俊美君=米山月間で例会担当です。奨学生の王様、カウンセラーの五味様よろしくお願ひします。●石田孝一君=家族例会、残念でした。●北川和彦君=バスハイク残念でした。またの機会を楽しみにしています。●小針哲郎君=バスハイクが台風によりキャンセルになり申し訳ございませんでした。●八幡一成君=今年の諏訪湖ワカサギ漁は順調に進んでいます。例年並みの小ささで美味しいと思います。豊漁を期待しています。●三井章義君=この度社長を長女貴美子に譲り会長になりました。どうぞよろしくお願ひ致します。●山崎晃君=念願の社長交代と創業 30 周年を無事迎え、平成と共に去りぬ。連続欠席申し訳ございません。●瀬在昭男君=ラッキーナンバーに当って。

◆会長告知・古屋了会長=先週は思わぬ台風の直撃でお仕事に大きな影響のあったメンバーもおいでになりました。東海地方では未だ停電が続いているとのこと。被災されました皆様に心よりのお見舞いを申し上げます。急な連絡でご迷惑をおかけいたしました。バスハイクも来月末にお預けとなりました。素晴らしい企画ですのでより多くの会員ご家族のご参加をいただきながら、益々楽しみにして参りたいと存じます。

さて、本日は国際結婚をお手伝いしたお話からです。当社には神社挙式プランという商品があり、当社で紋服と白無垢姿を仕立てて諏訪大社へエスコートし、挙式、写真撮影を行うというシンプルでリーズナブルなプランですが、ネットを通じて国内のみならず海外から毎年 20

件ほどのご利用があります。ささやかであっても日本らしい結婚式で、ご家族との思い出を作りたいという海外からの新郎新婦は、国際的な企業にお勤めの優秀な方、人間的に素直な方であることが特徴です。

先日、諏訪生まれの日本人男性と中国人女性の諏訪大社での結婚式をお手伝いいたしました。アモイで働く新郎新婦からネットでのご予約で、新郎の国の文化を尊重してくれる中国のご家族も招いて日本の結婚式をとのご要望にお応えしましたが、それぞれの親を大切にしようとする思いの強さとともに、国境を越え、差異を越えて、相手の文化を理解しあおうとする配慮の美しさを感じることができました。

今年は 1978 年の日中平和友好条約の締結から 40 周年。今月には首相の訪中も予定されているようです。

皆さんご存知の通り、国際交流においては正しい歴史認識が大切ですが、21 世紀に生きる我々にとって、日中の二千年に及ぶ交流の歴史と、20 世紀前半の日本による中国侵略の歴史、また 20 世紀後半の両国の友好関係への歴史の経緯は正確に総括し、理解することが大事です。とりわけ、「中日友好の流れの井戸を掘った日本人のリーダーがいたことを忘れてはならない」という周恩来の言葉は至言です。そのような正しい歴史認識・歴史教育、そして現実的な交流によって私たちに信頼感が育まれ、日中友好のさらなる発展につながるのではないのでしょうか。

蛇足ですが、先週、山形村のアイシティーで開催された「勇気の証言、ホロコースト展-アンネフランクと杉原千畝の選択」という展示を友人と見に行きました。健全な人の列に交じって、発達障害や肢体不自由をかかえた友人が目を潤ませながら真剣に展示に見入る姿に接し、「自分は差別の心を持っていないはずだ」と思っていました。この一日を通じ、改めて自身に問いかける機会となりました。

◆幹事報告・加藤明博幹事=①9月10日のバスハイクで親睦委員会に色々手配をしていただきましたが、台風が心配だったため急遽中止としました。振替日程が決まり次第お知らせします。②本日のクラブフォーラムは米山奨学委員会が担当です。③8月の例会で皆さんにお諮りした、長野日報社宮坂編集局長様の入会の件は、理事会で承認されました。異議のある方は一週間以内に書面で申し出をお願い致します。④10月12日は準法定休日です。

13日、14日は地区大会が伊那で開催されます。19日はクラブフォーラムで卓話、26日は同じくロータリー財団委員会の担当です。⑤9月11日に諏訪地区会長幹事会があり、その中で議題にあった「ポリオ撲滅チャリティゴルフコンペ」は2019年5月11日と決まりました。詳細が決まりましたらお知らせします。⑥本日例会後に理事会を行います。

◆クラブフォーラム 米山特別月間

●茅野ロータリー五味徳雄会長＝去年4月から王爽さんを米山奨学生として茅野ロータリーで受け入れています。諏訪東京理科大学の4年生で、現在は就活で忙しくして



います。非常に素直で明るくいい子なので、是非採用の機会がありましたら一考をお願い致します。王さんは中国吉林省出身です。本日の卓話、

よろしくをお願いします。

●米山奨学生 王爽様＝中国の吉林省から米山奨学生として昨年4月から茅野ロータリークラブにお世話になっている王爽です。現在は諏訪東京理科大学の4年生です。今日は将来の目標についてお話します。

来日して5年が経過しました。来日当初の目標は「日本の優れたものづくり」を学ぶことでした。「人情のある国」への留学だったので、およその目標は達成できたこととなります。経済面は相変わらず一文無しの学生ですが、日々充実感に満ちてとても満足しています。



これからどのような目標を持つのか？夢を語ると早い話し「ものづくりによる人間の生活の向上」です。

あらゆるものの最終製品は形あるもので、それは人と接します。日本は民族特性の上に、現場を重んじる風潮から、使う側からものづくりができる強さがあります。

アメリカは新しいことを創出することが得意です。しかし、その新しいことを形あるものに置き換えた時、必ずしも人に対して優しいとは限りません。例えばアメリカの地下鉄の発券機は鉄の塊で、おつりを取るのにわざわざしゃがまないと取れません。また、自動改札では前に隔たる鉄の棒を押す必要があります。このようなこと

は単なるエンジニアリングでしかないので、私はあまり好きになれません。

一方で日本の改札は自動でドアが開くだけでなく、最近は接触カードの開発や機能性向上も進んでいます。これは使う側に配慮したものづくりで温かさを感じます。家電や情報機器もそうです。優れた機能により世界の家電は日本ブランドが圧倒。情報機器では人との関わりにより重要な機能性・デザインを重んじたものづくりがされています。

以上の事から、日本におけるものづくりはこれからも重要で、それに直接触れることができた留学は収穫の一つです。

私は日本での経験を生かし、母国に貢献したいとの目標があります。それが微々たるものであったとしても、願うはこの先30年間、中国が環境を配慮しながら経済やテクノロジー等、あらゆる面で更に発展を続け、世界にとって無くてはならない存在となること、そして周囲の国々の人が集まる魅力ある国になることに対し、貢献したいと考えています。

もう一つの目標は、米山奨学生として日本に留学できたことによる体験を生かすことです。これまでの奨学生生活で得たものは、経済的な支援を得ただけでなく、ロータリーの方々や身近に接する機会が増え、沢山の貴重な体験を積み重ねることができ、心が豊かになりました。とても感謝しています。これからも感謝の気持ちを持って、将来、母国と日本の懸け橋となり、国際社会で活躍することを目指し、国際未来の創造と維持に貢献できるよう、これからも頑張っていきます。



〈王さんへのお礼を古屋会長から〉

◆今後の例会日程

10月12日	金	準法定休日
10月19日	金	プログラムフォーラム 卓話
10月26日	金	プログラムフォーラム ロータリー財団委員会

執筆担当 瀬在昭男